

○高宮町
宿駅 座・楽庵 喫茶おとくら

中山道の宿場町の面影が残る彦根市高宮町。石造りの多賀大社一ノ鳥居のすぐ近く、街道沿いの江戸期に作られた歴史ある商家を、県立大学の学生グループ「おとくらプロジェクト」が誰でも気軽に立ち寄れるコミュニティスペースへと甦らせました。「宿駅 座・楽庵 喫茶おとくら」は、学生たちによって運営されています。

「環人会ツアー」は主催者がNPO法人環人ネットとなりました。今回は県立大学と、近江環人・地域再生学座がかかりを持って活動している地域、なかでも県立大学近郊の集落（高宮、石寺、日夏）で、特に光彩を放つ活動に着目し企画されたツアーです。

当地は、環人ネットがNPOとして活動する舞台となる地です。私たちは、地元の現状について、足を運び、話し、成功している事例を学び、当NPO各事業活動への拡がりを期待したものです。

① 倉を改造した喫茶スペース ② 喫茶おとくらの店内 ③ ギャラリーも開放的 ④ 美味しい珈琲をいれてくれる2回生の石井さんと3回生の服部さん



高宮の宿駅「座・楽庵」店頭

環人会ツアーVol.15

彦根市 高宮町・石寺町・日夏町

- ◆日 時 / 1月29日(土)13:00~17:00
- ◆場 所 / 高宮 宿駅 座・楽庵 おとくら喫茶
石寺 エコ民家
日夏 旧日夏村役場
- ◆参 加 / 鶴飼准教授、辻村理事長、梶、田代、膽吹、高田、西村、中塚、富永、辻村(写真記録)10名
- ◆幹 事 / 富永千弘
- ◆主 催 / NPO法人コミュニティ・アーキテクトネットワーク
<環人ネット>



パンフレット



旧日夏村役場

当時の建築図面



ツアーの最後に、日夏町の朝鮮人街道沿いにある近代建築、旧日夏村役場（昭和10年竣工）を訪問しました。旧日夏村役場は、近江環人、地域再生学座七期生の荒木さん、又吉さんが発表されたコミュニケーション・プロジェクト実習の内容で確認していたものの、建築家W・M・ヴォーリスによる設計であるという事実に、たいへん興味を覚えました。また、地域の有識者自らによる保存・再生・活用への取り組みに感動し、畏敬の念を抱きました。

○日夏町 旧日夏村役場

建物内部は、空間の構成、優しい階段、丁寧なディテールなどから、明らかにヴォーリス建築であることがうかがえます。特に現役学座生の実習成果により、一粒社ヴォーリス建築事務所に保存されていた当時の建築図面が発見され、また、鶴飼先生が大広間の天井裏から当時の棟札を確認できたことなど、今後の保存再生に役立つ資料が揃いつつあります。今回のような、伝統的価値のある建築物の保存再生利活用について、今後、NPO法人環人ネットがサポートできるような態勢を整え、地域コミュニケーションの要望に応えていけるようになればと思います。

本ツアーの開催が、年明けの多忙な時期で、県内の各地のイベントとも重なりましたが、参加者と共に事故も無く、無事に閉会することができました。私たちが快く受入れて頂いた訪問先の関係者の皆様には、お礼を申し上げます。



① 石寺エコ民家3号館 ② 石寺エコ民家1号館の台所薪ストーブで暖をとる
③ 試作品の薪ストーブ ④ 3号館の2階
⑤ 1号館の2階はシアタースペース

かつて商家であった内部空間は、作家の作品が展示されているギャラリー、古い調度品ならぶ喫茶スペースへと改装されています。カフェの奥には土蔵への入り口があり、蔵の内部は、吹抜け空間を利用して適度な残響のあるライブスペースになっています。私たちは、学生たち（県立大生服部さん、石井さん）による、美味しいコーヒーとケーキのセットを頂き、古くて新しい空間をしばし楽しみました。来客された地元の方からは、地域の昔の様子を伺い、現在は、交流の場・おとくらが地元の

方に愛されていることを知りました。

○石寺町 エコ民家

滋賀県立大学環境科学部 鶴飼研究室が、集落内の空き家となった古民家を、環境負荷の少ないバイオマスを積極的に利活用した「エコ民家」へと、次々に改修を進めています。「エコ民家」へ入居希望の学生が多く、新たに三つ目のシェアハウスを確保するため、現在、NPO法人環人ネットが、空き民家改修のサポートをしています。今回は、既に工事が完了している居住空間（居間、厨房、学生部屋）を視察しました。居間では、薪ストーブのデータ収集が行われており、入居した学生が、室温と外気温、投入する薪の炭素量の計測を担当しています。お風呂や洗面・流しのための湯沸し用薪ボイラーが設置されているのは、既存の「エコ民家」と同様です。

引き続き、母屋の改修を計画しており、地域の住人が気軽に立ち寄れる場所を目指しています。